



かどま

平成27年
(2015)

12

No. 1171

月号

(毎月1日発行)

CITY OF KADOMA

■年末年始 市役所などの業務	2
■市営住宅入居者募集	4
■放課後児童クラブの入会受付	7
■28年市成人祭	9
■みんなでつくる門真の第九2016	11

門真市役所 〒571-8585門真市中町1番1号 ☎06(6902)1231 ☎072(885)1231
 編集と発行／総合政策部秘書広報課 ホームページ <http://www.city.kadoma.osaka.jp/>
 配布に関する問い合わせ ☎0120(934)571

人口12万5508人(男6万1995人、女6万3513人) 世帯数6万1147世帯
 転入428人 転出482人 出生61人 死亡111人
 (27年11月1日現在 転入・出などは27年10月中の数字)

防犯特集

みんなで守る 地域の安全



市内にある防犯カメラ

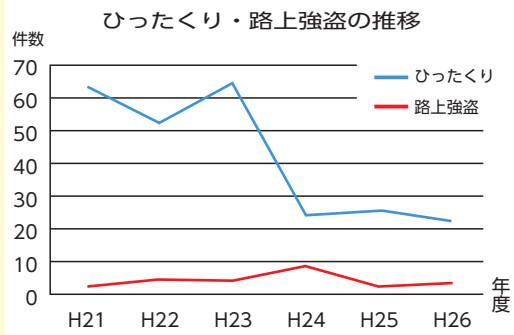
地域を見守る 防犯カメラと防犯灯
 防犯カメラは、21年度から他市に先駆けて導入しています。現在では、市や自治会、商店街が公民協働で設置した約160台の防犯カメラが地域の安全・安心を見守っています。また、今年11月には市内にある防犯カメラを緊急点検し、効率的・持続的な設置方法を検討しています。



市内にある防犯灯

また、市内には約6800灯の防犯灯もあります。明るいまちづくりに向けて、市では防犯灯のLED化を推進しています。

(仮称) 防犯対策基本方針の策定へ



21年度と26年度の「ひったくり」、「路上強盗」の件数を比較すると、ひったくりは64件から23件へ激減し、路上強盗は3件から4件へと推移しています。そのほかの街頭犯罪も、おおむね減少傾向にあり、防犯カメラ・防犯灯の設置促進により、犯罪の抑止効果が高まったことがうかがえます。

身の周りの犯罪を抑止するためにも、これらに加え、市と市民、警察、事業者などが力をあわせ、犯罪のないまちづくりに取り組むことが大切です。

市は総合的な防犯体制を構築するため、「(仮称)防犯対策基本方針」の策定を進め、安全・安心に生活できる地域社会の実現をめざします。

門真警察署が犯罪抑止活動を強化



門真警察署・竹原秀幸 生活安全課長

門真警察署では、年末に向けて発生が懸念されるコンビニや金融機関を狙った凶悪事件、ひったくりをはじめとする街頭犯罪などの各種犯罪の抑止活動を強化します。



ガラスケが1日警察署長に



地域の夜間防犯パトロール



児童を見守るキッズサポーター活動

公民協働で取り組み強化 地域の安全・安心へ
 市内では、自治会や門真市防犯協議会防犯支部など、地域の皆さんが、公民協働による取り組みで犯罪が起こりにくいまちをめざし、さまざまな防犯活動を行っています。防犯啓発チラシの配布をはじめ、夜間パトロールや青色防犯パトロール、児童の登下校を見守るキッズサポーター活動など、コミュニケーションを図りながら地域の安全・安心を守っています。

市では、これらの防犯活動を支援するため、防犯カメラ・防犯灯の設置費用補助のほか、門真警察署と協力して市内の小学校で防犯キャンペーンを実施するなど、子どもから高齢者まで幅広い世代の防犯意識の高揚に向けた取り組みを進めています。



問合先 地域活動課
 ☎06(6902)3034

平成27年 全国地域安全運動

中高生から地域への発信



- 中高生の発表内容
- ◆大人にしてもらいたいこと
 - ・防犯カメラ・防犯灯の充実
 - ・夜間パトロールの充実
 - ◆自分たちでできること
 - ・自転車はライトを点けて乗る
 - ・自転車盗難防止にチェーンを使う
 - ・夜遅くまで出歩かない
 - ・防犯ブザーを持つ
 - ・大人に助けってもらえる場所で遊ぶ



中高生が防犯ワークショップ 「地域の安全」を研究・発表
 10月17日、市内の中学・高校に通う生徒が防犯ワークショップでまとめた「地域の安全」について、市民プラザで発表しました。

防犯ワークショップは、市立第三中学校・第四中学校、府立門真西高校・門真なみはや高校の生徒が、摂南大学の学生の協力を得て実施。それぞれの学校で「地域の安全」について話し合い、「自分たちの地域の良い点・悪い点」「大人にしてほしいこと」「自分たちができること」を発表しました。



防犯ワークショップで自分たちが暮らす地域の安全について話し合う